

7月1日（木）午後に、阿賀野市消防本部の立会のもと、上期防災訓練を行いました。「2階栄養科で出火、初期消火を試みるが火の勢い強く失敗。非常放送およびサイレン作動し、避難を開始する」というシナリオで、約50名のスタッフが参加し、本番さながらの雰囲気で行われました。

毎年、防災訓練の前にはエアストレッチャー講習会を開催し、新採用者・転勤者などを中心に、エアストレッチャーの使い方を学んでいます。そのおかげで、エアストレッチャーでの安全な搬送方法をよく理解し、スムーズに患者役を搬送することが出来ました。訓練当日は猛暑にもかかわらず、病棟から1階まで階段を使い、エアストレッチャーで2往復患者搬送するため、参加者はみんな汗だくでした。

防災訓練終了後、阿賀野市消防本部の方より「全体を振り返り、組織的・迅速・安全だった」と講評をいただきました。その後、病院敷地内で消防本部の方々から手ほどきを受けながら、消火器による消火訓練を行いました。消火器の基本的な操作方法・初期消火の重要性を再確認しました。

防災訓練時のサイレンなどで、近隣住民の方々には毎度ご迷惑かけますが、命を守るための大切な訓練ですので、今後ともご理解・ご協力を宜しくお願い致します。



防災訓練を実施しました



院長のつぶやき

全国で、災害が多発しています。院内では、4月から来られた新人が活躍しています。消火器や消火栓の設置場所、操作方法、エアストレッチャーの取り扱いなどの指導を受け、防災訓練の日に、学んだ知識を行動に移せるかチェックです。エアストレッチャー操作は、思いの外、体力を使います。医療関係者は、智力、体力、気力、人間性、倫理性が求められます。日々成長、日々前進ですね。

